

兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 13 号)

平成29年2月7日発行

兵庫のり研究所

今回は西寄りの季節風による時化後の調査でした。ユーカンピアは前回 (1/30) 調査同様、依然として多く確認されます。窒素は、陸水等の影響を受けていた一部調査地点を除き地先で2~3 $\mu\text{g at/L}$ 台、沖筋で概ね1 $\mu\text{g at/L}$ 台でした。大阪湾において珪藻 (ユーカンピア・小型珪藻) による海域全般での栄養塩減少に伴い、明石海峡周辺海域でも窒素が2 $\mu\text{g at/L}$ 台と前回調査時よりもやや低下しました。

(水温) 漁場内平均9.7℃。(塩分) 平均31.23psu (前回31.33psu)。水温、塩分の低い海水の範囲が広い。

(栄養塩、珪藻) 全域においてユーカンピアが確認されており、西寄りの海水の影響が広範囲に及んでいたこともあり、前回調査と比較し多く見られた。ユーカンピアは色素が全般に薄くなっているものの、更に細胞分裂を行い細胞数の増えた個体が目立った。明石海峡周辺海域の海水中には、大阪湾東部域 (大阪府沿岸一帯) で大量発生しているスケルトネマは少し確認される程度であった。ユーカンピアの沈静と大阪湾での漁場環境の好転が望まれる。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	10.3	9.7	9.0	10.4
窒素	2.5	2.2	2.6	3.7
リン	0.34	0.24	0.35	0.34

(1/30)

(2/5)

西播地先

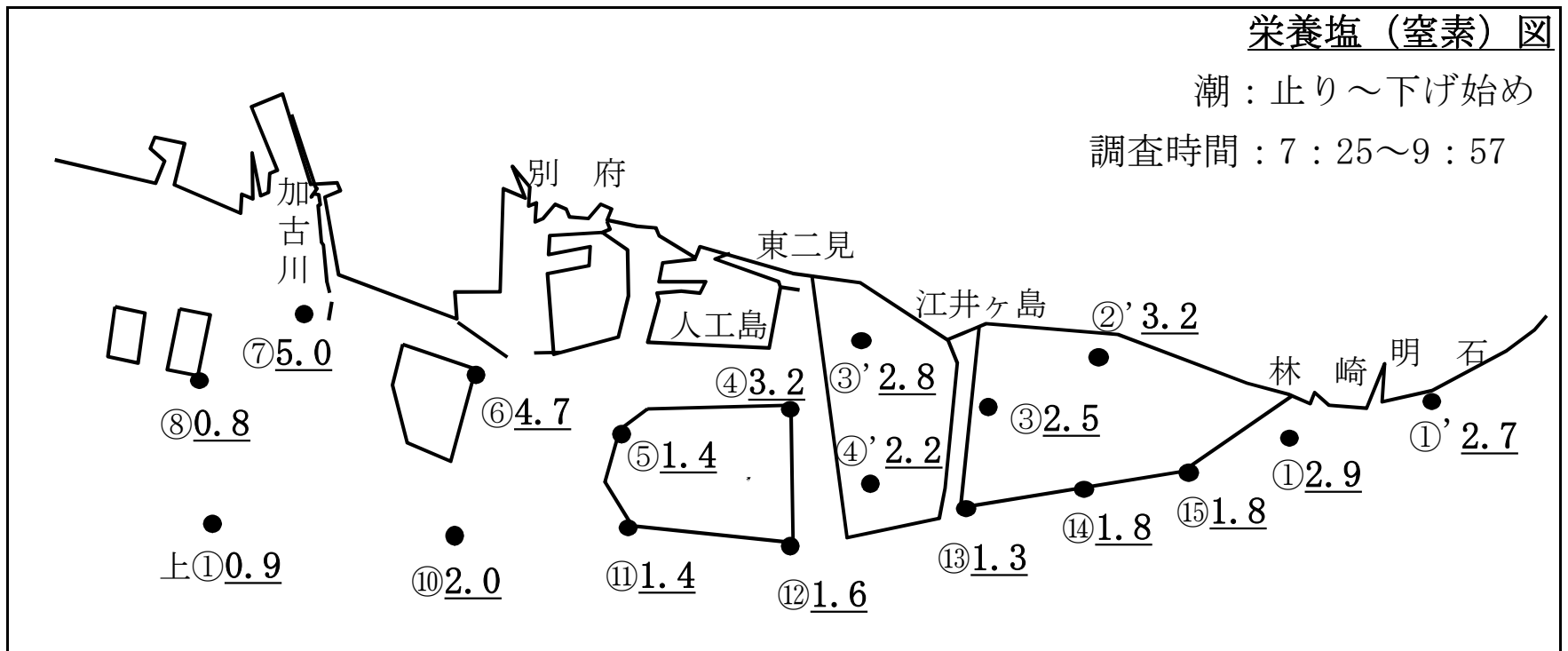
伊保 地	水温	9.7℃	伊保 沖	水温	9.6℃
	窒素	0.8		窒素	0.7
	リン	0.19		リン	0.18
白浜 地	水温	9.6℃	白浜 沖	水温	9.5℃
	窒素	0.8		窒素	0.7
	リン	0.18		リン	0.18

平成29年2月7日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：止り～下げ始め

調査時間：7:25~9:57



水温図

